

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2017年9月27日

9月27日（水）に、金沢大学がん進展制御研究所4階会議室において、(1) 京都大学大学院医学研究科 微生物感染症学 准教授 丸山史人先生 (2) 京都大学大学院医学研究科 微生物感染症学 特任助教 藤吉 奏先生をお招きして、異分野融合セミナーを開催しました。

「身のまわりの微生物研究へのお誘い」のタイトルで、(1) 丸山先生からは「若手研究者が超大型研究費を獲得する方法～チリとの国際共同研究を例として～」、(2) 藤吉先生からは「携帯型ナノポア DNA シーケンサーを用いたサンプリング現場解析」の研究結果を中心に最先端のお話を講演していただきました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約30名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



金沢大学新学術創生研究機構
金沢大学がん進展制御研究所

異分野融合セミナー

身のまわりの微生物研究へのお誘い

「若手研究者が超大型研究費を獲得する方法 ～チリとの国際共同研究を例として～」

京都大学大学院 医学研究科 微生物感染症学 准教授
丸山 史人 先生 (17:00~17:50)

「携帯型ナノポア DNA シーケンサーを用いた サンプリング現場解析」

京都大学大学院 医学研究科 微生物感染症学 特任助教
藤吉 奏 先生 (17:50~18:30)

9月27日 水曜日 17:00~18:30

金沢大学がん進展制御研究所 4階セミナー室

丸山先生は、全ゲノムおよびトランスクリプトーム解析手法による微生物の検出・定量により、環境中や感染症病変部における生物間相互作用の解明を行っている新進気鋭の研究者です。本セミナーでは、超大型研究費である SATREPS の採択課題「チリにおける持続可能な養殖確立に向けた赤潮早期警戒のための産官学連携基盤の構築」について、赤潮ホロビオームの理解を目指した現在の取り組みや課題採択に至るまでの経緯などをご講演いただきます。

また、藤吉先生には、次々世代シーケンサーとして注目されるナノポア DNA シーケンサーについて、実際に使用した感想、他の DNA 解析技術との比較、さらなる応用の可能性などをご講演いただきます。皆様、ふるってご参加ください。

連絡先：土屋晃介（新学術創生研究機構 がん進展制御コア・がん進展制御研究所 免疫炎症制御研究分野）

内線 6721 ktsuchiya@staff.kanazawa-u.ac.jp